

測量計算/CAD編集が行える総合型の地理空間情報処理システムです

<TOWISEご紹介ページ>

<https://www.nikon-trimble.co.jp/products/software/towise.html>



TOWISEは新たな測量手法を皆さまにご提供いたします。測量計算/CAD編集はもちろんのこと、地理院地図の背景表示や3次元活用など、成果品質の向上と作業の省力化に努めました。さらに、3DスキャナーやUAV等で観測した点群をトレースして平面図の作成や、点群から作ったTIN（面）から縦横断データ等を作成できます。

◇ 国土地理院の様々なコンテンツが利用できます



地理院地図Vectorを標準機能として背景に表示したり、CADデータに展開ができます。また線幅や色のカスタマイズ機能に加え従来からの地図画像と重ね合わせて表示ができます。表示レベルやベクトル情報が多様化され、背景地図としての利用範囲が格段に向上しました。

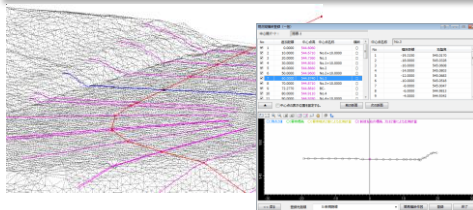
出典：静岡県 PCDB/地理院タイル/国土地理院ベクトルタイル提供実験データを利用

◇ 標高タイル・点群を利用して3Dモデルを自動作成



標高タイル (DEM5A/5B/10B) や点群から3Dモデルを作成したり、地理院地図をテキストチャとして利用できます。また、点群データや測量計算データ/CADデータと重ねて高さの比較や観測計画/路線計画等に利用できます。

◇ 点群や標高タイルから縦横断データ/等高線を作成



TIN情報と路線データの交点から現況縦横断面の作成や等高線の自動作成ができます。これ以外にも自由に基線を指示して標高断面図を作成したり、CAD図形の端点や測点に対し標高タイルから算出したZ値を割り付けする等が出来ます。

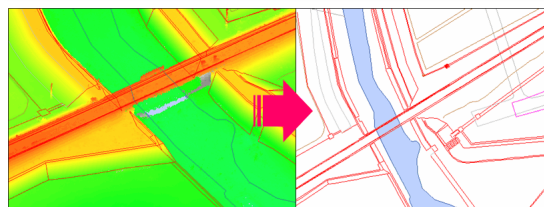


## 地理院地図 Vector

出典：国土地理院ベクトルタイル提供実験

地理院地図をシームレスに背景表示しCAD編集や測量計算に利活用！

◇ 点群 (3Dスキャナー/UAV) データを活用



スキャニングトータルステーション Trimble SX10

3Dスキャナー/UAVで観測した点群を利用してCAD図形のトレースが行えます、トレースした図形に対して通常のCAD編集を行いDXF/DWG/SFC/P21/DM/SHP等のデータに出力できます。これらのデータを再度点群と重ね合わせて表示してチェックを行ったり、TIN作成時のブレイクラインとして利用できます。(最大で約2億点の点群が利用可能 (64Bit版OSをご利用の場合))

**点群データ (3次元データ) を活用し測量・設計分野での生産性を向上！**

株式会社ニコン・トリングル

〒144-0035東京都大田区南蒲田2-16-2 テクノポート大樹生命ビル4F  
03-5710-2596

URL : <https://www.nikon-trimble.co.jp/>